

平成 26 年度 事 業 報 告

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

日経平均株価推移が 15 年ぶりに 2 万円を超えるという株式市場の好転、貿易収支の改善、賃金上昇や有効求人倍率の上昇(過去 20 年間で最低を記録した 2010 年の 0.52 から 1.09 へ)、完全失業率の低下(2010 年の 5.4 から 3.6 へ)など雇用環境の改善、内閣府による消費者意識指標に基づく基調判断も「持ち直している」への上方修正がなされ、経済活動においては光明が射し始めたように思われる。

一方、大地震・噴火の自然災害への脅威、また、戦後 70 年間を平和国家としての歩みを続けてきた日本国の一大転機となるかも知れない集団安全保障体制や積極的平和主義の将来(行く先)をめぐる論議、中国その他近隣諸国との不協和音など我国を取りまく環境は、予断を許す様な状況にはない。しかしながら、本会会員は、いかなる環境にあらうとも自彊術によって自己の健康の維持・増進を図るだけでなく、その普及促進と啓発の活動を通し、国民の健康の維持・増進を図り国力の下支えをするのだ、しているのだとの自負と誇りをもって不断的努力を重さねている。特に、人生後半における生活を享受するための健康年齢の延長を目指し、激増する高齢者福祉予算の節減に少くなく貢献しているものと考えている。

平成 26 年度も「社会のための自彊術」という視点を持ち、各事業の遂行に努めて下さった各支部長以下全国の指導員そして本部職員の皆様々に感謝を申し上げる。

なお、平成 26 年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、54,180 名となり前年度比 999 名(約 1.9%)の増加となっており、本会の各事業活動は各支部長並びに指導者各位の社会に貢献しようとの情熱と使命感により順調に推移したものと考えている。

会 員	平成 26 年 3 月末	平成 27 年 3 月末	増 減
名誉会員	1	1	0
正 会 員	620	636	+16
賛助会員	53,181	54,180	+999
合 計	53,802	54,817	+1,015

II 【事業の内容】

公 1 普及促進事業

1、指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

本部主宰の講習会のほか中伝資格者以上の指導者が主宰する教場での講習会において、従前よりの教場に加えて平成26年度は下表の推移となった。

① 新設教室

指導者の増加に伴い前年度確定値比として新教場(149)が新設された。

新設教場増加数(初心者講習会を含む)							
	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 H25 下期 (確定値)	54	228	2,383	642	609	434	4,350
H26 年度増減 (※速報値)	+1	+9	+91	+3	+40	+5	+149
計	55	237	2,474	645	649	439	4,499

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

生涯教育としての「自彊術」の必要性の認識が高まり、地方公共団体・病院の主宰する講習会や、NHK・朝日・読売などの民間カルチャーセンターなどからの講師派遣依頼も増加した。

③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術 31 動から抜粋して行う等の活動がなされた。

2、指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

① 熱川研修会(自彊術体操の普及とその技術と精神の伝承を志し、自彊術普及会の中核指導者とならんとする者を養成することを目的とする。)

第 91 回	平成 26 年 4 月 11 日～13 日 指導者 師範 3 名・奥伝 5 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 129 名
第 92 回	平成 26 年 6 月 27 日～29 日 指導者 師範 2 名・準師範 2 名・奥伝 3 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 111 名

第 93 回	平成 26 年 10 月 24 日～26 日 指導者 師範 2 名・準師範 2 名・奥伝 3 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 89 名
--------	---

近年、厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。

なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容も厳しいものになっている。

② シニア熱川研修会(65 歳以上の、指導者を目指す者を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する。)

第 8 回	平成 26 年 10 月 22 日～24 日 指導者 師範 2 名・準師範 2 名・奥伝 4 名 受講対象者 65 歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計 136 名
-------	---

指導者を目指す 65 歳以上の人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えるという目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、十分に挙げ得たといえることができる。指導者たちの高齢化に伴う指導力の漸次的低下に対応する研修会の有意性が認識される。

③ 総支部指導者養成所研修会

各支部の中核となる指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

名 称	受講資格	実施場所	指導講師
東北 指導者養成所	初伝・中伝	福島県福島市置賜町 5 置賜会館	師 範 長谷場 京 他
関東 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範 藤井眞規子他
神奈川県 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範 幸村恵美子他
中部 指導者養成所	初伝・中伝	愛知県名古屋市中区丸の内 2-5-10 アイリス愛知	準師範 永井 弘子 他
関西 指導者養成所	初伝・中伝	大阪府大阪市阿倍野区松崎町 2-2-25 安倍乃荘	準師範 四本多美子他
九州・中国 指導者養成所	初伝・中伝	福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社	師 範 久保 穎子 他
		福岡県北九州市小倉北古船場 1-6 菅原会館	

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年 1 回随時実施する。

平成 26 年度 地方特別研修会

No.	支部名	開催日				開催場所	実行委員長	講師	講師
1	春日部・越谷・春日部北支部	4/22	火	4/23	水	本部道場	門倉久美子	中島陽子	都築チヨ子
2	石川県支部	5/10	土	5/11	日	石川県文教会館	木戸外茂子	堀井恵子	小久保正代
3	名古屋中支部	5/19	月	5/20	火	アイリス愛知	森田恵美子	藤井真規子	吉川由美子
4	練馬、千代田、板橋支部	5/20	火	5/21	水	本部道場	志田由美子	小篠幾代	後藤光子
5	静岡県支部	5/24	土	5/25	日	もくせい会館	堀井恵子	小林久美子	鈴木すが子
6	大阪府、大阪東支部	5/24	土	5/25	日	安倍乃荘	綿田芙美枝	虫生一恵	高木洋美
7	立川、甲府支部	5/24	土	5/25	日	ハヶ岳ロイヤルホテル	江波戸光子	四本多美子	朝倉淑美
8	川越、熊谷、東松山支部	5/26	月	5/27	火	本部道場	佐藤秀子	久保田元子	高城美恵子
9	豊橋支部	5/28	水	5/29	木	呉竹荘	富田節代	中島陽子	結城献子
10	新宿朝日、むさし野、所沢支部	6/3	火	6/4	水	本部道場	松本雅江	長岡勝美	丹羽とも子
11	福島、山形県、宮城県北、茨城支部	6/8	日	6/9	月	摺上亭 大鳥	長谷場京	猪狩正子	白須清子
12	千葉県成田支部	6/17	火	6/18	水	本部道場	長岡勝美	小篠幾代	矢嶋アキ子
13	千葉県稲毛・千葉県流山・大宮南支部	6/24	火	6/25	水	本部道場	山中信子	木村嘉津子	藤井靖子
14	立川朝日・春日部南支部	7/1	火	7/2	水	本部道場	大野光代	幸村恵美子	渡辺公子
15	札幌支部	7/5	土	7/6	日	札幌全日空ホテル	玉置百合子	山尾慶子	高原恵子
16	名古屋支部	7/5	土	7/6	日	アイリス愛知	永井弘子	山中節子	堤恭子
17	兵庫県支部	7/5	土	7/6	日	シーパル須磨	四本多美子	宮本綾子	善上陽子
18	京都洛中、滋賀県支部	7/5	土	7/6	日	京都平安ホテル	井上美枝子	堀井恵子	富田節代
19	千葉県柏支部	7/7	月	7/8	火	本部道場	久保田元子	中島陽子	堀内郁子
20	千葉県支部	7/15	火	7/16	水	本部道場	猪狩正子	小林久美子	須賀照子
21	福岡、北九州、山口、南九州、福岡南支部	9/1	月	9/2	火	警固神社	宮本綾子	幸村恵美子	渡辺公子
22	神奈川県総支部	9/16	火	9/17	水	本部道場	小倉恵子	猪狩正子	丹羽とも子
23	富士北麓支部	10/1	水	10/2	木	西桂町役場 YLO 会館(山梨)	澤田請子	四本多美子	-
24	大宮支部	10/4	土	10/5	日	本部道場	中島陽子	小篠幾代	藤井靖子
25	京都府、奈良県支部	10/4	土	10/5	日	洛南会館	山尾慶子	幸村恵美子	鈴木多津子
26	東京北支部	10/18	土	10/19	日	本部道場	堤恭子	猪狩正子	高木洋美・堀内郁子
27	豊川・名古屋東支部	11/11	火	11/12	水	豊川商工会議所会館	加藤 由美子	木村嘉津子	綿田芙美枝
28	三重県支部	11/15	土	11/16	日	ホテルグリーンパーク鈴鹿	奥野敏子	藤井真規子	早野登喜子
29	小平支部	11/18	火	11/19	水	本部道場	安田三千代	小篠幾代	斉藤克子
30	沖縄支部	1/24	土	1/25	日	ユインチホテル南城	野原文雄	虫生一恵	高木洋美

(2) 上級指導者研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第7条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者に対する養成力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① 準師範等研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認をし、その結果を指導者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の統一性を維持することを目的とする。)

東北：平成26年11月27日～30日

師範4名、準師範12名

② 奥伝研修会

- (i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

平成26年4月15日、8月5日、10月21日、平成27年1月13日

- (ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

東北：平成26年11月27日～30日

師範4名、準師範12名、奥伝70名

③ 支部長研修会

本部道場：平成26年4月15日、8月5日、10月21日、平成27年1月13日

(3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

免 状	年 度	月	人 数	小 計
初 伝	平成26年	4月	228名	
		7月	272名	
		10月	173名	
	平成27年	1月	284名	957名
中 伝	平成26年	8月	152名	152名
奥 伝	平成26年	6月	13名	13名
準師範	平成26年	6月	1名	1名
師範	平成26年	6月	0名	0名

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国 九州	合計
初伝	12	71	536	114	156	68	957
中伝	1	8	87	21	20	15	152
奥伝	0	1	7	3	0	2	13
準師範	0	0	0	0	1	0	1
師範	0	0	0	0	0	0	0

公 2 普及啓発事業

1、自彊術に関する調査研究(定款第 4 条第 1 項(3))

自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、10 月 24 日第 8 回シニア熱川研修会において研修参加者を対象に健康度測定調査を実施した。その結果、自彊術歴の違いにより多少の差はあるが、体操継続者の健康度は、各年代グループ毎の平均健康度をかなり上回ることが明らかになった。

2、自彊術に関する刊行物等の発行(定款第 4 条第 1 項(3))

①機関紙「自彊の友」の発行

毎月、近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

本年度も引き続き「自彊術」の効用・会員の動向の関連記事を中心に編集した。平成 26 年度各号の主な記事は次の通りである。

4 月号 (458 号)

- ・上級指導者研修会(箱根湯本)
- ・ベースボールマガジン社より「DVD 付自彊術」の本出版取材

5 月号 (459 号)

- ・平成 26 年 4 月 1 日附初伝取得者名簿(228 名)
- ・近藤芳朗先生メモリアル・レクチャー
自律神経失調症④

6 月号 (460 号)

- ・『DVD でよくわかる自彊術』が出版されました。
- ・我がクラスの自慢したい先輩

7 月号 (461 号)

- ・第 4 回通常総会
- ・平成 25 年度正味財産増減計算書
- ・「今一度、沖縄の長寿を~自彊の精神で」①
沖縄科学技術大学院大学理事・農学博士尚弘子先生(公開講演会)

8 月号 (462 号)

- ・自彊の友と北海道感動の旅(成田支部)
- ・「今一度、沖縄の長寿を~自彊の精神で」②(公開講演会)

9 月号 (463 号)

- ・北海道・旭川に再び輝きを
- ・平成 26 年 7 月 1 日附初伝取得者名簿(272 名)
- ・「今一度、沖縄の長寿を~自彊の精神で」③ (公開講演会)

10月号(464号)

- ・ヘルスアート生きがい講座 300 回記念特別講演会
- ・平成 26 年 8 月 15 日附中伝取得者名簿(152 名)
- ・「今一度、沖縄の長寿を~自彊の精神で」④ (公開講演会)
- ・内閣府による「立入検査」実施についての報告

11月号(465号)

- ・茨城県支部設立 10 周年記念大会
- ・小平支部 35 周年記念大会
- ・台湾での普及活動実現に向けて
- ・「今一度、沖縄の長寿を~自彊の精神で」⑤ (公開講演会)

12月号(466号)

- ・横須賀支部 20 周年記念大会
- ・平成 26 年 10 月 1 日附初伝取得者名簿(173 名)
- ・「今一度、沖縄の長寿を~自彊の精神で」⑥ (公開講演会)

1月号(467号)

- ・新年の御挨拶
- ・奥伝研修会に参加して
- ・意味深い奥伝研修会

2月号(468号)

- ・2015 年いよいよ始動。支部長大集合!
- ・我がクラスの自慢したい先輩
- ・近藤芳朗先生メモリアル・レクチャー 何のために自彊術をやるのか?

3月号(469号)

- ・温故知新「正統自彊術療法」を伝授してくださった中井勝先生
- ・平成 27 年 1 月 1 日附初伝取得者名簿(284 名)
- ・近藤芳朗先生メモリアル・レクチャー

②「リーフレット」の配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。普及活動が活発になるにつれて配布量は増加し、25,000 部の配布となった。

③「自彊術の栞」の配布状況

栞には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。6,500 部の配布となった。

3、web による情報の公開(定款第 4 条第 1 項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図り、本会に対する社会的信頼の形成に尽力する必要がある。

4、公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月19日に沖縄科学技術大学院大学理事・農学博士尚弘子先生により「今一度、沖縄の長寿を~自彊の精神で」の演題で実施され好評を得た。

5、周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

支部周年行事

- ・ 35 周年 小平支部
- ・ 20 周年 横須賀支部
- ・ 15 周年 京都洛中支部
- ・ 10 周年 札幌支部 千葉県流山支部

6、海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

①台湾での講習会実施要請への対応

前年11月の「国際交流祭 in 台北」(NHK文化センター主催)への参加により好評を得た結果、4月に台湾太鼓協会理事長王妙涓氏が本部見学の為来日し、台北・台中での講習会実施の要請を受けた。更にその後8月5日に打合せのため再来日。本部は自彊術の紹介だけでなく教室運営の可能性と可能条件を確認するため9月27日~29日の日程で準師範3名を派遣し検討を重ね、平成27年4月より実施のための講師派遣を決定した。

②米国ワシントン DC 教室から今年度も研修会に参加

平成25年10月の熱川研修会及び地方特別研修会への2名参加に続いて、平成26年10月にも3名の参加がなされました。(平成27年度には「中伝」資格者の誕生が期待されている。)

7、近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・ 事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・ 入館料は無料
- ・ 本年度入館者数 451 名

Ⅲ 【その他】

1、会議(定款第3章以下及び4章以下)

(1)総会・・・・・・・・・・ ○決算総会 平成26年6月19日 京王プラザホテル

議題：平成25年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告

○予算総会 平成27年3月8日 北とぴあ

議題：平成27年度事業計画

平成27年度収支予算

(2)理事会・・・・・・・・・・ ○決算理事会 平成26年5月31日 本部道場

議題：平成25年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告

○予算理事会 平成27年2月21日 北とぴあ

議題：平成27年度事業計画

平成27年度収支予算

(3)支部主催会議・・・・・・ 随時

本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2、東日本大震災に伴う見舞金義援金募金活動の実施

平成26年度も、全国の会員より応援のご厚志が寄せられ、その金額は約155万円の高額に上り、全壊・流失の重大な罹災をされた会員31名に対するお見舞金と足なが育英会津波遺児募金口への義援金として配賦がなされた。

3、本部道場外周補修工事の実施

東日本大震災の影響による外壁タイルの剥落ヒビ割れ等の補修を実施した。

4、マスコミに取り上げられた自彊術

- ・本部

日経ヘルス(7月号) 内臓が若返る「自彊術」

NHK テレビ「ためしてガッテン」

月刊『秘伝』(8月号)

テレビ東京「主治医が見つかる診療所」

テレビ東京「健康スイッチ」(12月1日)

わかさ出版『夢21』(2月号)「リウマチ」

わかさ出版『夢21』(5月号) 特集「自彊術」

- ・福島支部

福島中央テレビ「グラッチェふくしま」(8月16日)

- ・東京北支部

北区ケーブルテレビ「情報宅配便キタクン」(6月20日)

- ・熊谷支部

読売地方版 読者コーナー(11月21日)

- ・千葉県柏支部

龍ヶ崎市市民活動センターだより(6月号)

常陽新聞「治療法を土台にした健康体操」(11月12日)

- ・練馬支部

練馬区報「区民ひろば」4件

- ・むさし野支部

J:com チャンネル武蔵野・三鷹地デジ 11 チャンネル

「ススメ! 実年探見隊」(4月1日~15日)

- ・小平支部

多摩ケーブル羽村テレビ

- ・神奈川南支部

ミニコミ誌「葉山の仲間たち」

葉山まちづくり協会 12月号

- ・湘南支部

タウン誌「なかま」

- ・静岡県支部

静岡朝日テレビ「とびっきり静岡」(10月25日)

- ・石川県支部

PL 教団「芸生新聞」"自彊術のススメ"(10月6日)

- ・豊川支部
中日新聞地域情報誌「コミュボード」
岡崎市地区情報誌「むらさきかん」
- ・兵庫県支部
センターかけはし
- ・大阪府支部
FM ラジオ局「タッキー&16 みのおエフエム」
- ・滋賀県支部
読売新聞 われら楽しみ人"31 動作順番に"(1 月 30 日)
- ・北九州支部
KBN 香川テレビ放送ニュース「いきいきワイド」(9 月 11 日)
- ・山口支部
テレビ山口 ちぐまや家族(6 月 21 日)
- ・福岡南支部
ケーブルテレビ クーミンテレビ(久留米、鳥栖、大川、柳川)
「健康体操自彊術」(6 月 17 日~23 日)

平成 26 年度事業報告 付属明細書

平成 26 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第 34 条 3 項に規程する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 27 年 5 月 27 日
公益社団法人 自彊術普及会

監査報告書

平成 27 年 5 月 26 日

公益社団法人 自彊術普及会
代表理事 久保 穎子 殿

監 事 飯森 和也



監 事 磯貝 元男



私たちは、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

平成26年度決算報告書

平成26年度貸借対照表

平成27年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	137,569,874	105,378,429	32,191,445
未収金	816,151	736,000	80,151
前払費用	1,058,314	235,583	822,731
流動資産合計	139,444,339	106,350,012	33,094,327
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,213,000	30,213,000	0
基本財産合計	30,213,000	30,213,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,000,000	16,785,000	5,215,000
減価償却引当資産	80,000,000	70,000,000	10,000,000
特定資産合計	102,000,000	86,785,000	15,215,000
(3) その他固定資産			
建物	350,709,492	343,543,692	7,165,800
建物附属設備	14,277,400	14,277,400	0
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	8,448,482	8,448,482	0
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-100,064,391	-90,613,919	-9,450,472
ソフトウェア	476,700	476,700	0
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	2,438,175	2,438,175	0
保証金	20,000	20,000	0
その他固定資産合計	545,157,327	547,441,999	-2,284,672
固定資産合計	677,370,327	664,439,999	12,930,328
資産合計	816,814,666	770,790,011	46,024,655

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,044,355	1,964,084	80,271
未払費用	0	516,755	-516,755
前受会費	43,739,000	42,464,500	1,274,500
預り金	499,368	486,222	13,146
流動負債合計	46,282,723	45,431,561	851,162
2 固定負債			
退職給付引当金	22,398,000	20,500,000	1,898,000
固定負債合計	22,398,000	20,500,000	1,898,000
負債合計	68,680,723	65,931,561	2,749,162
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	718,133,943	674,858,450	43,275,493
一般正味財産合計	718,133,943	674,858,450	43,275,493
(うち基本財産への充当額)	(213,000)	(213,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(80,000,000)	(70,000,000)	(10,000,000)
正味財産合計	748,133,943	704,858,450	43,275,493
負債及び正味財産合計	816,814,666	770,790,011	46,024,655

平成26年度 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	390,000	390,000	0
② 特定資産運用益	22,700	20,258	2,442
③ 受取会費	167,839,500	165,860,500	1,979,000
正会員受取会費	6,390,000	6,350,000	40,000
賛助会員受取会費	161,449,500	159,510,500	1,939,000
④ 事業収益	102,164,306	92,965,080	9,199,226
講習会等実施事業収益	12,129,106	12,264,080	-134,974
指導者養成事業収益	68,986,000	60,184,000	8,802,000
資格等授与事業収益	21,049,200	20,517,000	532,200
⑤ 受取寄付金	335,000	265,000	70,000
受取寄付金	335,000	265,000	70,000
⑥ 雑収益	11,315,828	11,535,993	-220,165
総会・懇親会会費	9,594,000	10,197,000	-603,000
受取利息	8,448	4,977	3,471
その他雑収益	1,713,380	0	1,713,380
保険差益	0	1,334,016	-1,334,016
経常収益計	282,067,334	271,036,831	11,030,503
(2) 経常費用			
① 事業費	196,141,231	205,919,857	-9,778,626
役員報酬	27,913,050	29,566,860	-1,653,810
給料手当	18,358,703	15,627,400	2,731,303
臨時雇賃金	2,901,950	3,188,925	-286,975
報酬謝金	26,687,300	26,278,800	408,500
役員退職慰労金繰入額	1,408,316	1,093,782	314,534
退職給付金	330,000	580,000	-250,000
法定福利費	3,023,403	3,019,347	4,056
会議費	7,074,464	10,466,907	-3,392,443
会場費	23,553,910	13,266,992	10,286,918
旅費交通費	17,511,524	21,621,761	-4,110,237
通信運搬費	8,034,643	8,643,319	-608,676
減価償却費	7,222,212	7,687,894	-465,682
什器備品費	100,440	42,000	58,440
消耗品費	3,380,822	14,021,008	-10,640,186
修繕費	1,438,192	3,074,215	-1,636,023
印刷製本費	9,298,716	9,681,220	-382,504
渉外費	672,817	600,694	72,123
光熱水料費	1,564,653	1,388,309	176,344
リース料	185,472	167,328	18,144
保険料	198,736	243,977	-45,241
諸謝金	2,873,210	1,964,741	908,469
租税公課	2,030,012	2,029,912	100
インターネット	72,032	142,616	-70,584
支払手数料	202,786	264,225	-61,439
委託費	2,950,630	4,740,935	-1,790,305

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
事務委託費	26,173,350	25,637,200	536,150
雑費	979,888	879,490	100,398
② 管理費	42,650,610	48,762,063	-6,111,453
役員報酬	10,396,950	10,893,140	-496,190
給料手当	3,935,958	3,933,780	2,178
臨時雇賃金	216,600	0	216,600
役員退職慰労金繰入額	489,684	386,302	103,382
退職給付金	0	503,176	-503,176
法定福利費	1,264,189	1,588,912	-324,723
福利厚生費	212,353	301,078	-88,725
会議費	8,998,779	9,198,925	-200,146
会場費	1,299,240	1,498,455	-199,215
旅費交通費	1,165,253	997,450	167,803
通勤費	624,780	530,760	94,020
通信運搬費	969,206	1,070,093	-100,887
減価償却費	2,228,260	1,550,569	677,691
什器備品費	1,030,548	352,600	677,948
消耗品費	1,664,235	1,460,500	203,735
修繕費	66,420	2,529,249	-2,462,829
印刷製本費	225,828	402,255	-176,427
渉外費	643,046	862,576	-219,530
光熱水料費	548,039	577,379	-29,340
リース料	368,532	379,512	-10,980
保険料	28,228	28,017	211
諸謝金	125,469	32,274	93,195
租税公課	2,335,038	4,889,338	-2,554,300
支払寄付金	33,000	533,000	-500,000
支払手数料	112,115	124,950	-12,835
委託費	2,968,080	3,232,320	-264,240
雑費	700,780	905,453	-204,673
経常費用計	238,791,841	254,681,920	-15,890,079
当期経常増減額	43,275,493	16,354,911	26,920,582
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	242,315	-242,315
建物付属設備除却損	0	242,315	-242,315
経常外費用計	0	242,315	-242,315
当期経常外増減額	0	-242,315	242,315
当期一般正味財産増減額	43,275,493	16,112,596	27,162,897
一般正味財産期首残高	674,858,450	658,745,854	16,112,596
一般正味財産期末残高	718,133,943	674,858,450	43,275,493
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	748,133,943	704,858,450	43,275,493

平成26年度 正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業(公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	390,000	390,000		390,000
②特定資産運用益	0	0	22,700	22,700		22,700
③受取会費	0	0	83,919,750	83,919,750	83,919,750	167,839,500
正会員受取会費	0	0	3,195,000	3,195,000	3,195,000	6,390,000
賛助会員受取会費	0	0	80,724,750	80,724,750	80,724,750	161,449,500
④事業収益	102,164,306	0	0	102,164,306	0	102,164,306
講習会等実施事業収益	12,129,106	0	0	12,129,106	0	12,129,106
指導者養成事業収益	68,986,000	0	0	68,986,000	0	68,986,000
免状発行等事業収益	21,049,200	0	0	21,049,200	0	21,049,200
⑤受取寄付金	0	0	335,000	335,000	0	335,000
受取寄付金	0	0	335,000	335,000	0	335,000
⑥雑収益	0	1,713,380	8,448	1,721,828	9,594,000	11,315,828
総会・懇親会会費			0	0	9,594,000	9,594,000
受取利息	0	0	8,448	8,448	0	8,448
雑収益	0	1,713,380	0	1,713,380	0	1,713,380
経常収益計	102,164,306	1,713,380	84,675,898	188,553,584	93,513,750	282,067,334
(2) 経常費用						
①事業費	137,078,739	59,062,492	0	196,141,231	0	196,141,231
役員報酬	19,720,830	8,192,220		27,913,050		27,913,050
給料手当	14,994,923	3,363,780		18,358,703		18,358,703
臨時雇賃金	2,693,650	208,300		2,901,950		2,901,950
報酬謝金	26,687,300	0		26,687,300		26,687,300
役員退職慰労金繰入額	994,552	413,764		1,408,316		1,408,316
退職給付金	330,000	0		330,000		330,000
法定福利費	2,185,494	837,909		3,023,403		3,023,403
会議費	6,652,088	422,376		7,074,464		7,074,464
会場費	23,032,538	521,372		23,553,910		23,553,910
旅費交通費	16,479,821	1,031,703		17,511,524		17,511,524
通信運搬費	2,053,099	5,981,544		8,034,643		8,034,643
減価償却費	5,469,214	1,752,998		7,222,212		7,222,212
什器備品費	100,440	0		100,440		100,440
消耗品費	2,811,399	569,423		3,380,822		3,380,822
修繕費	1,438,192	0		1,438,192		1,438,192
印刷製本費	580,696	8,718,020		9,298,716		9,298,716
渉外費	610,577	62,240		672,817		672,817
光熱水料費	1,343,138	221,515		1,564,653		1,564,653
リース料	139,104	46,368		185,472		185,472
保険料	161,470	37,266		198,736		198,736

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業(公 2)	共 通	小 計		
諸謝金	1,010,000	1,863,210		2,873,210		2,873,210
租税公課	1,692,620	337,392		2,030,012		2,030,012
インターネット	0	72,032		72,032		72,032
支払手数料	200,636	2,150		202,786		202,786
委託費	2,747,630	203,000		2,950,630		2,950,630
事務委託費	2,168,000	24,005,350		26,173,350		26,173,350
雑費	781,328	198,560		979,888		979,888
②管理費	0	0	0	0	42,650,610	42,650,610
役員報酬					10,396,950	10,396,950
給料手当					3,935,958	3,935,958
臨時雇賃金					216,600	216,600
役員退職慰労金繰入額					489,684	489,684
法定福利費					1,264,189	1,264,189
福利厚生費					212,353	212,353
会議費					8,998,779	8,998,779
会場費					1,299,240	1,299,240
旅費交通費					1,165,253	1,165,253
通勤費					624,780	624,780
通信運搬費					969,206	969,206
減価償却費					2,228,260	2,228,260
什器備品費					1,030,548	1,030,548
消耗品費					1,664,235	1,664,235
修繕費					66,420	66,420
印刷製本費					225,828	225,828
渉外費					643,046	643,046
光熱水料費					548,039	548,039
リース料					368,532	368,532
保険料					28,228	28,228
諸謝金					125,469	125,469
租税公課					2,335,038	2,335,038
支払寄付金					33,000	33,000
支払手数料					112,115	112,115
委託費					2,968,080	2,968,080
雑費					700,780	700,780
経常費用計	137,078,739	59,062,492	0	196,141,231	42,650,610	238,791,841
当期経常増減額	-34,914,433	-57,349,112	84,675,898	-7,587,647	50,863,140	43,275,493
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	7,587,647	7,587,647	-7,587,647	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業（公 1）	普及啓発事業（公 2）	共 通	小 計		
当期一般正味財産増減額	-34,914,433	-57,349,112	92,263,545	0	43,275,493	43,275,493
一般正味財産期首残高				509,375,617	165,482,833	674,858,450
一般正味財産期末残高				509,375,617	208,758,326	718,133,943
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	208,758,326	748,133,943

平成26年度財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

建物については、定額法によっている。

建物附属設備、構築物及び什器備品については、定率法によっている。

② 無形固定資産

定額法によっている。

(3) 役員退職慰労引当金の計上基準

役員の退職手当の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 職員退職引当金の計上基準

職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,213,000	0	0	30,213,000
小計	30,213,000	0	0	30,213,000
特定資産				
退職給付引当資産	16,785,000	5,215,000	0	22,000,000
減価償却引当資産	70,000,000	10,000,000	0	80,000,000
小計	86,785,000	15,215,000	0	102,000,000
合 計	116,998,000	15,215,000	0	132,213,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,213,000	(30,000,000)	(213,000)	(-)
小計	30,213,000	(30,000,000)	(213,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	22,000,000	(-)	(-)	(22,000,000)
減価償却引当資産	80,000,000	(-)	(80,000,000)	(-)
小計	102,000,000	(-)	(80,000,000)	(22,000,000)
合 計	132,213,000	(30,000,000)	(80,213,000)	(22,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。
(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	350,709,492	87,422,668	263,286,824
建物附属設備	14,277,400	6,263,800	8,013,600
構築物	1,053,982	439,566	614,416
什器備品	8,448,482	4,299,233	4,149,249
商標権	2,438,175	1,162,424	1,275,751
ソフトウェア	476,700	476,700	0
合 計	377,404,231	100,064,391	277,339,840

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。
(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第270回利付国債(10年)	30,213,000	30,084,000	-129,000
合 計	30,213,000	30,084,000	-129,000

6 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	法人等の名称	住所	資産総額(単位円)	事業の内容	議決権の所有割合
役員の 近親者	(株)ブン企画	福岡県筑紫野市 針摺中央二丁 目2-32	7,265,092	映像ソフト、書籍等 の製作と研修用備 品の販売	なし

関係内容		取引の内容	取引金額(単位円)	科目	期末残高(単位円)
役員兼務等	事業上の関係				
なし	役務の受入	熱川研修会用備品	561,700	消耗品費	0
		ポスター制作	424,000	印刷製本費	0
		ポスター発送	54,440	通信運搬費	0
		本部用備品	22,760	消耗品費	0
		合 計	1,062,900		0

取引条件及び取引条件の決定方針等

映像ソフト、書籍等及び研修用備品の発注については、他社から複数の見積りを入手し、市場の実勢価格を考慮し、発注先及価格を決定している。

7 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

8 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	20,500,000	1,898,000	0	0	22,398,000

平成26年度 財産目録

平成27年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	・手元保管(本部) ・手元保管(各支部・62口)	運転資金として 運転資金として ＜現金計＞	341,832 4,978,925 5,320,757
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	40,448,192
		・三菱東京UFJ銀行駒込支店	運転資金として	20,904,089
		・ゆうちょ銀行中里支店	運転資金として	10,499,186
		・ゆうちょ銀行支部口座(62口)	運転資金として	50,280,332
			＜普通預金計＞	122,131,799
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (026471)	10,003,748
		・ゆうちょ銀行王子郵便局	運転資金として (687874)	113,570
			＜振替預金計＞	10,117,318
	未収金	・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	816,151
	前払費用	・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	1,058,314
			＜その他計＞	1,874,465
流動資産合計				139,444,339
(固定資産)				
基本資産	投資有価証券	・第270回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,213,000
特定資産	退職給付引当資産	・定期預金	負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産	15,000,000
		・普通預金		
		三菱東京UFJ銀行駒込支店		
	減価償却引当資産	・定期預金	減価償却累計額に対応して引当された資産	80,000,000
その他固定資産	建物	・会館	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	40,122,380
		北区中里二丁目14		
	建物	・道場	公益目的事業の用に供しており、共用割合は	150,037,737
	建物(工事)	・資料館及び会館内装工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	13,104,842
		北区中里二丁目14		
	建物	・第二道場	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。	47,137,200
	建物(改修工事)	・資料館及び事務所の改修工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は100%:0%及び0%:100%である。	5,730,808
	建物(補修工事)	・道場の外部補修工事	公益目的事業の用に供しており、共用割合は	7,153,857
	建物附属設備	北区中里二丁目12	100%である。	263,286,824
			＜建物計＞	
		・会館2階の空調・電気・昇降設置工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50%:50%	635,029
		・道場・会館の看板交換工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76%:24%	126,837
		・第二道場の電気・ガス・給排水・冷暖房等設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	3,381,354

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	構築物	・会館2F設備・電気・照明工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は、0%:100%	3,565,775
		・会館3F電気工事・ミニキッチン	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は、100%:0%	304,605
		＜建物附属設備計＞		8,013,600
		・第二道場の舗装・排水工事、 ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%である。	614,416
	什器備品	＜構築物計＞		614,416
		・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	144,795
		・コンピューターサーバー	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	1
		・組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	111,282
		・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	88,315
		・第二道場のインターフォン 設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	37,037
		・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000
		・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	717,738
		・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	840,585
		・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%供している。	110,994
		・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	748,502
		＜什器備品計＞		4,149,249
	土地	・95. 70㎡(会館) 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は66%:34%である。	66,453,187
	土地	・131. 23㎡(道場) 北区中里二丁目12	公益目的事業に供しており、共用割合は100% である。	109,410,000
	土地	・116. 68㎡(第二道場) 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	91,861,500
	商標権	＜土地計＞		267,724,687
		・自彊術に関する日本・中国・ 台湾の商標権	公益目的事業の用に供しており、共有割合は 100%である。	1,275,751
	電話加入権		公益目的事業の用に100%供している。	72,800
	保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000
		＜その他計＞		1,368,551
固定資産合計				677,370,327
資産合計				816,814,666
(流動負債)	未払金	・印刷製本費	月刊機関紙印刷代等の未払い額	1,205,710
		・郵便事業	3月分後納郵便代	88,004
		・北社会保険事務所	3月厚生年金保険料他	364,613
		・支部交通費・講師料	九州・中国総支部研修会交通費・講師料	239,820
		・ファーストリフティング	災害備品用パレット代	88,608
		・板橋支部他	支部長給与他	57,600
		＜未払金＞		2,044,355
	前受会費	・土曜教室月謝	本部道場土曜教室月謝	216,000
		・賛助会費	平成27年度賛助会費の前受会費	38,438,000
		・研修会費	第94回熱川研修会130名分の研修会費	4,940,000
		・正会員費	平成27年度正会員費の前受会費	20,000
		・湘南支部	賛助会費	75,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	・関西情報専門学校他	平成27年度団体会費	50,000
			＜前受会費＞	43,739,000
		・王子税務署	27年3月分 3月分源泉所得税	295,094
		・ 〃	27年3月分 204条源泉所得税	17,357
		・豊島区役所他	27年3月分住民税	123,300
			雇用保険料他	63,617
			＜預り金＞	499,368
流動負債合計				46,282,723
(固定負債)	退職給付引当金			
		・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金	22,398,000
			＜退職給付金引当金＞	22,398,000
固定負債合計				22,398,000
負債合計				68,680,723
正味財産				748,133,943